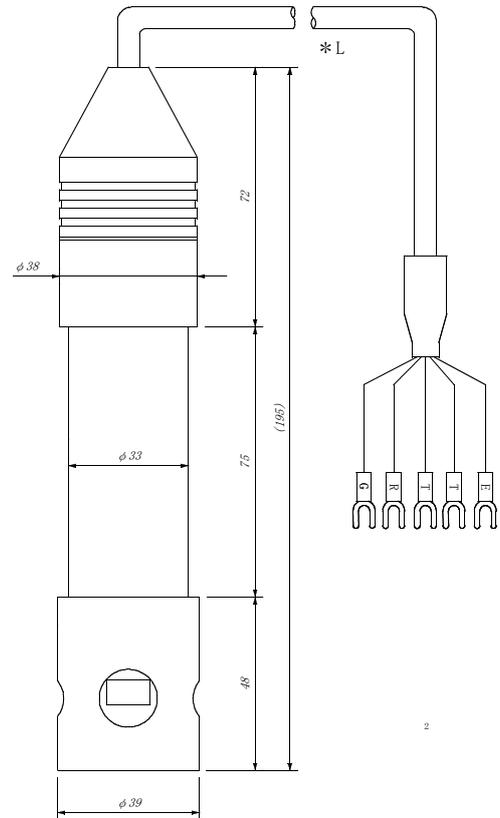


# CR-5 塩化物イオン電極 取り扱い説明書

## 1.仕様

型 式	CR-5
用 途	投げ込み型
品 名	塩化物イオン濃度検出器
測 定 方 式	固体感応膜イオン選択性電極
使用温度	5~60℃
ケーブル長 (標準)	5m
湿度検出素子	10kΩ at 25℃ 測温抵抗
最適pH範囲	pH5~6
Cl <sup>-</sup> 0.1mol/lにおける選択係数	S <sup>2-</sup> : 共存不可 CN <sup>-</sup> 、I <sup>-</sup> : 10 <sup>-5</sup> Br <sup>-</sup> 、S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> : 10 <sup>-2</sup> NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> 、SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 、CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> 、PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> 、F <sup>-</sup> : 10 <sup>3</sup>

## 2.外観



## 3.使用方法

- 1.電極を指示計に接続します
- 2.電極先端のキャップを取り外します
- 3.測定液の中に電極を入れてください。最低48mmつかないと正常に測定できません

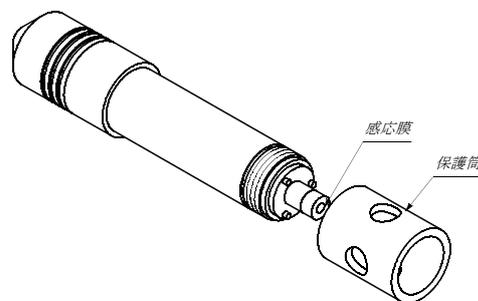
## 4.保 守

### 4.1.電極の保守

電極は被検液に含まれる有機質、無機質で表面がおおわれますと、被検液の変化に対し応答が遅くなり、誤差を生じます。

### 4.2.洗 浄

- ◎ 電極先端部の感応膜を添付サンドペーパー（#800程度）で軽くこすって下さい。研磨後は水でよく洗って下さい。
- ◎ 洗浄の頻度と方法は汚染の状態で決めて下さい。



#### 4.3.絶縁の点検

- ◎電極リード線の端子が地面や、床に接触してはいないか。
- ◎計器G端子が、汚れていないか。

#### 4.4.寿命

- ◎膜の腐食、内部液の変質、内部電極の劣化等により劣化します。
- ◎期間は大体数か月程度を目安として下さい。（液温、液の性質等により大幅に変化します。）

#### 4.5.その他

- ◎電極は衝撃や強い振動で破損する事はもちろん、内部電極の加工部の破損や、内部液同士の混入等も起こりますので、十分注意して下さい。

### 注意

- ◎通気穴はふさがないようにして下さい。
- ◎内部液の液面は比検液より高い位置にして下さい。
- ◎専用ケーブル以外での延長や途中で継ぎ足すと正しい測定が出来ません。
- ◎電極は使用温度範囲内でご使用下さい。

#### 5.補充品

品名	型名	備考
500mg/l Cl <sup>-</sup> 標準液	CL500S	500cc pH5調整済み
5000mg/l Cl <sup>-</sup> 標準液	CL5000S	500cc pH5調整済み